

教育事業別報告書

事業名	地域力向上事業「まるごとふくしま冒険キャンプ」
趣 旨	20名の小学生がボランティアの若者と9日間にわたって地域の自然や文化、施設や人材等の特色を生かした様々な活動に集団で挑戦する過程で、自分で考えて行動する力、仲間に対する思いやりや助け合う心、身近な方々や社会に対する感謝の気持ち、忍耐力等を育てていく。また、地元福島県の地域教育力を最大限に生かし、郷土に目を向けられる心情を育てる。
期 間	平成29年7月29日(土)～8月6日(日) 8泊9日
募集人員 (募集結果)	小学5・6年生 20名 応募総数65名 参加者人数22名(小学5年生10名, 小学6年生12名)

① 事業の特色

8泊9日の活動を「挑戦へ向けて【キャンプトレーニング】」「山へのチャレンジ【那須連山縦走登山】」「海へのチャレンジ【海浜活動】」「挑戦を終えて【発表会】」の4つのステージに分け、それぞれ関連・発展性のある目標をもって活動に取り組んだ。全体テーマを『最高の夏、やってみよう!』と称し、初めての体験活動や体力的に厳しい活動に思い切って挑戦することで、思いやりや協力することの大切さなど、他者との関わりについても学んでいった。また、地域の教育力を生かしたプログラムを展開し、福島の未来について考えることができた。



【キャンプトレーニング】



【那須縦走登山】



【海浜活動】



【まとめの活動】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- ・キャンプトレーニングでは、一人一人テント設営の仕方やガスバーナーの使い方を習得し、登山の楽しさや野外炊事の楽しさを体験することができた。
- ・那須縦走登山では、悪天候にもめげず、チームで協力し励まし合いながら、体調不良者も出ずに全員が無事にゴールすることができた。
- ・海浜活動では、マリンスポーツや砂遊びを体験し、海の自然に触れ理解を深めることができた。
- ・まとめの活動では、毎日のふり返りを通して、このキャンプで学んだことやこれからの自分の生き方について考えるよい機会となった。
- ・地域に住んで活躍されている様々な方々の話を聞くことで、自分の知らなかった世界の話や福島の未来について考えるよい機会となった。(登山の話、熊撃ちの話、震災の話)
- ・昨年度の反省を生かし、ボランティアを大学生から高校生まで募集し、延べ7名の学生を確保することができた。年齢が近いボランティアは、子供たちと親密に関わり、体験活動の大きな原動力となった。

<事業の課題>

実施期間を昨年度から1週間短縮したため、忙しい活動内容になってしまった。今後、アンケートの結果や保護者からの意見を聞いて、教育的効果がどの程度あったのかを検証していく。

(文責：企画指導専門職 西村 孝幸)